

厚生労働省北海道労働局発表  
令和2年6月22日

担当  
厚生労働省  
北海道労働局労働基準部安全課  
課長 石川 和男  
副主任産業安全専門官 鈴木 力  
代表電話：011-709-2311（内線 3552）  
直通電話：011-788-6327

報道関係者 各位

## 死亡労働災害は前年同期比12人(48.0%減)の大幅な減少

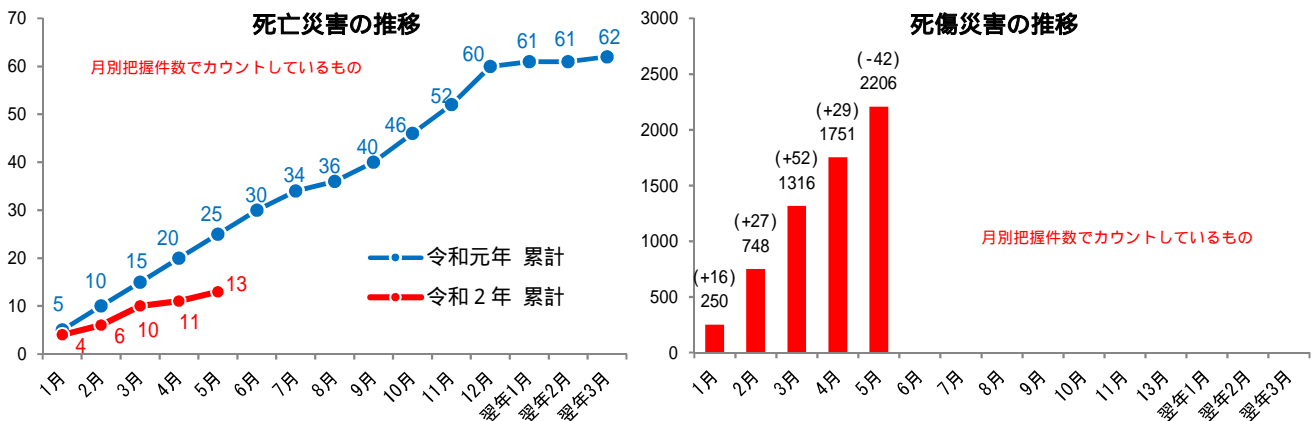
～令和2年の北海道内の労働災害発生状況(令和2年5月末現在速報値)～

北海道労働局(局長 <sup>うえだくに</sup>上田国土)は、令和2年の労働災害発生状況(令和2年5月末現在速報値)について取りまとめたので、その内容を公表します。

死亡災害は前年と比較してほぼ半減し、死傷災害は前年と比較して5月以降減少に転じており、相対的に改善傾向にあると判断できます。ただし、夏場における熱中症の発生や工事が本格化する建設業などの今後の災害発生状況の推移には十分に留意する必要があります。

### 1 労働災害の月別推移

令和2年5月末現在の道内の労働災害による死亡者数は13人であり、前年同期と比べて12人減少(48.0%減)しています。休業4日以上<sup>以上</sup>の死傷者数は、2,206人で、前年同期と比べて45人減(2.0%減)しています。

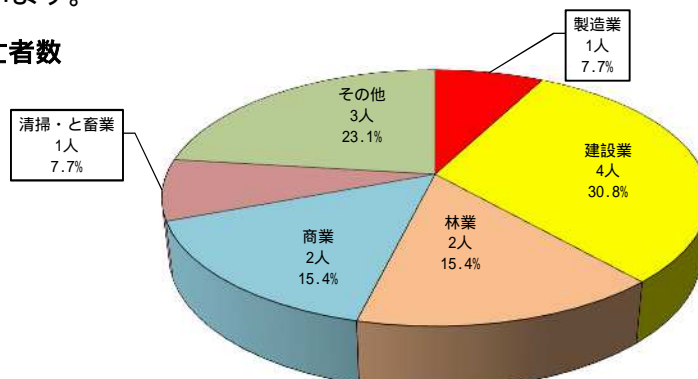


### 2 死亡災害発生状況(1月～5月)

#### (1) 業種別の状況【図1】、【資料番号1、2】

業種別では、建設業が4人で最も多く、林業、商業が各2人、製造業、清掃・と畜業が各1人となっています。

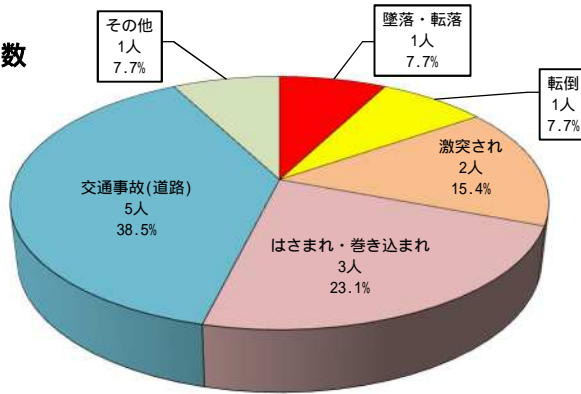
図1 業種別死亡者数



(2) 事故の型別の状況【図2】、【資料番号3】

事故の型別では、「交通事故(道路)」が5人で最も多く、「はさまれ・巻き込まれ」が3人、「激突され」が2人、「墜落・転落」「転倒」が各1人となっています。

図2 事故の型別死者数

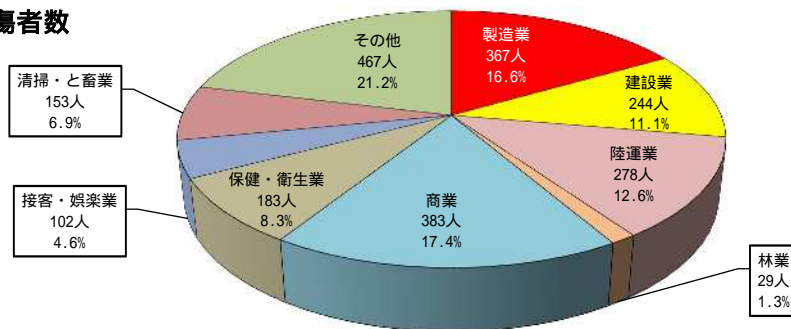


3 休業4日以上死傷災害発生状況(1月~5月)

(1) 業種別の状況【図3】、【資料番号4】

業種別では商業が383人と最も多く、製造業が367人、陸上貨物運送事業が278人、建設業が244人の順となっています。

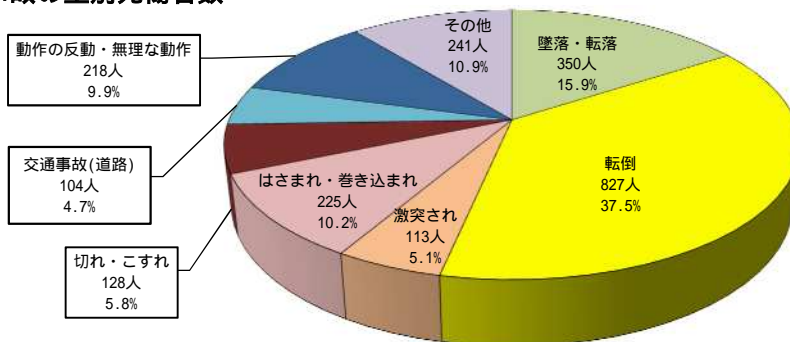
図3 業種別死傷者数



(2) 事故の型別の状況【図4】、【資料番号5】

事故の型別では、「転倒」が827人で最も多く、「墜落、転落」350人、「はさまれ、巻き込まれ」225人、「動作の反動・無理な動作」218人の順となっています。

図4 事故の型別死傷者数



## 4 北海道労働局の対応

北海道における労働災害防止のために、災害多発業種に対して業種ごとの災害特性に応じた重点的な災害防止対策を推進するほか、転倒災害等の業種をまたいで多発している災害についても災害態様に応じた災害防止対策を推進しています。

(主な取組の推進)

### ○「第93回 全国安全週間」

(本週間：令和2年7月1日～7月7日、準備期間：令和2年6月1日～6月30日)

北海道労働局では、企業をはじめ関係各界での安全意識の高揚と安全活動の定着を図るため、全国安全週間の実施について各関係団体等に協力を依頼し、広く地域社会での安全意識の高揚と安全活動の定着が図られるよう取組みを進めます。

職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリストの活用を！厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症の大規模な感染拡大を防止するために、「職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリスト」を作成し、これを参考として、事業場の実態に即した、実行可能な感染拡大防止対策を検討いただくよう関係団体の長あて要請しております。

参考：チェックリストのダウンロードはこちらです。

厚生労働省ホームページ内に移動します。

URL <https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/000630736.pdf>

QRコード



「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」(取組期間：令和2年5月1日～9月30日)  
北海道労働局では、労働災害防止団体などと連携して、「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」を展開し、暑さ指数の活用のほか、こまめな水分補給、休憩時間の確保など、職場での熱中症予防のための重点的な取組を進めています。

### 【添付資料】

- 資料番号1 令和2年における死亡災害発生状況
- 資料番号2 令和2年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)
- 資料番号3 令和2年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
- 資料番号4 令和2年 業種別労働災害発生状況(その1、その2)
- 資料番号5 令和2年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況
- 資料番号6 令和2年 署別・業種別死亡災害発生状況
- 資料番号7 令和2年 死亡労働災害の概要(令和2年5月把握分)
- 資料番号8 令和2年 有害物質による急性中毒等発生状況

### 労働災害統計表について

各年の災害統計は、翌年3月末までに把握した12月末までの休業4日以上の災害情報を集計して、統計値を確定しています。

令和2年の災害統計は、令和3年3月31日以降に確定することとなります。

## 令和2年における死亡災害発生状況 [速報]

令和2年1月1日～令和2年5月31日

北海道労働局

業種	令和2年		令和元年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全産業	13 ( 5 )	100.0	28 ( 4 )	100.0	-15	-53.6	-16	-66.7
製造業	1 ( )	7.7	4 ( )	14.3	-3	-75.0	-3	-75.0
鉱業	( )		( )			-		-
建設業	4 ( 1 )	30.8	9 ( )	32.1	-5	-55.6	-6	-66.7
交通運輸事業	1 ( )	7.7	( )		1	-	1	-
陸上貨物運送事業	( )		4 ( 2 )	14.3	-4	-100.0	-2	-100.0
港湾運送業	( )		( )			-		-
林業	2 ( )	15.4	4 ( 1 )	14.3	-2	-50.0	-1	-33.3
その他の事業	5 ( 4 )	38.5	7 ( 1 )	25.0	-2	-28.6	-5	-83.3

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の( )内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年については集計期間中の速報件数であり、昨年については集計期間中の確定件数である。

## 令和2年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)

令和2年1月1日～令和2年5月31日

北海道労働局

業種	令和2年		令和元年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	5 ( 4 )	100.0	7 ( 1 )	100.0	-2	-28.6	-5	-83.3
小売業	1 ( 1 )	20.0	1 ( )	14.3			-1	-100.0
医療保健業	( )		( )			-		-
社会福祉施設	( )		( )			-		-
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	( )		( )			-		-
ビルメンテナンス業	1 ( )	20.0	( )		1	-	1	-
ゴルフ場の事業	( )		1 ( )	14.3	-1	-100.0	-1	-100.0
警備業	1 ( 1 )	20.0	( )		1	-		-
農業・畜産業	( )		2 ( )	28.6	-2	-100.0	-2	-100.0
水産業	( )		( )			-		-
その他	2 ( 2 )	40.0	3 ( 1 )	42.9	-1	-33.3	-2	-100.0

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の( )内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年については集計期間中の速報件数であり、昨年については集計期間中の確定件数である。

## 令和2年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況

令和2年1月1日～令和2年5月31日

北海道労働局

事故の型番号	業種番号 業種	1 製	2 鉱	3 土	4 建	5 道	6-2 陸	7-2 港	7-2 林	7-2 水	その他 の 事 業	起因物番号 起因物	11	12	13	14	15	16	17	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	51	52	61	71	91	92	99
													原	動	木	建	金	一	車	動	動	乗	圧	化	溶	炉	電	人	用	そ の 他 の 装 置 設 備	仮 設 物 ・ 建 築 物 ・ 構 築 物 等	危 険 物 ・ 有 害 物 等	材	荷	自 然 環 境 等	そ の 他 の 起 因 物	起 因 物 な し	分 類 不 能
1	墜落、転落				1							1																										
2	転倒										1	1																								1		
3	激突																																					
4	飛来、落下																																					
5	崩壊、倒壊																																					
6	激突され								2			2																								2		
7	はさまれ、巻き込まれ	1			2							3				1																						
8	切れ、こすれ																																					
9	踏抜き																																					
10	おぼれ																																					
11	高温、低温の物との接触																																					
12	有害物等との接触																																					
13	感電																																					
14	爆発																																					
15	破裂																																					
16	火災																																					
17	交通事故(道路)				1						4	5										1	4															
18	交通事故(その他)																																					
19	動作の反動・無理な動作																																					
90	その他					1						1																										1
99	分類不能																																					
	合計	1			4	1			2		5	13				1																			3		1	

## 業種別労働災害発生状況 その1

令和2年1月1日～令和2年5月31日

北海道労働局

業種別	令和2年			令和元年			対前年		業種割合 (%)	令和元年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計	13	2,193	2,206	28	2,223	2,251	-45	-2.0	100.0	62	6,681	6,743
製造業	1	366	367	4	389	393	-26	-6.6	16.6	10	1,094	1,104
食料品		182	182		185	185	-3	-1.6	8.3	2	563	565
木材・家具	1	44	45		38	38	7	18.4	2.0		98	98
紙・印刷		11	11		10	10	1	10.0	0.5	1	28	29
窯業・土石		7	7		17	17	-10	-58.8	0.3	1	43	44
金属・機械		56	56	2	72	74	-18	-24.3	2.5	2	173	175
その他		66	66	2	67	69	-3	-4.3	3.0	4	189	193
鉱業												
土石採取業		10	10		6	6	4	66.7	0.5		24	24
建設業	4	240	244	9	263	272	-28	-10.3	11.1	20	918	938
土木工事業	3	82	85	4	83	87	-2	-2.3	3.9	9	270	279
建築工事業	1	88	89	4	107	111	-22	-19.8	4.0	9	405	414
木造建築業		35	35	1	30	31	4	12.9	1.6	1	123	124
その他		35	35		43	43	-8	-18.6	1.6	1	120	121
交通運輸事業	1	93	94		105	105	-11	-10.5	4.3	2	237	239
陸上貨物運送事業		278	278	4	286	290	-12	-4.1	12.6	6	765	771
道路貨物運送		258	258	4	278	282	-24	-8.5	11.7	6	719	725
陸上貨物取扱		20	20		8	8	12	150.0	0.9		46	46
港湾運送業		8	8		5	5	3	60.0	0.4		17	17
林業	2	27	29	4	25	29			1.3	8	94	102
水産業		46	46		34	34	12	35.3	2.1	1	131	132
商業	2	381	383	2	353	355	28	7.9	17.4	3	1,002	1,005
清掃・と畜業	1	152	153		146	146	7	4.8	6.9	1	422	423
上記以外の事業	2	592	594	5	611	616	-22	-3.6	26.9	11	1,977	1,988

死亡災害については死亡災害速報、休業災害については労働者死傷病報告書(休業4日以上)による同期間中に把握した件数の前年同期の対比である。

## 第13次労働災害防止計画進捗状況

5月末同月比

	死亡災害			死傷災害		
	被災者数	増減数	増減率	被災者数	増減数	増減率
基準年(平成29年)	28			2,095		
3年目(令和2年)	13	-15	-53.6%	2,206	111	5.3%

**第13次労働災害防止計画の目標**  
平成29年と比較して令和4年までに…  
・死亡者数を20%以上減少させる。  
・死傷者数を5%以上減少させる。

# 業種別労働災害発生状況 その2

令和2年1月1日～令和2年5月31日

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	令和2年			令和元年			対前年		業種割合 (%)	令和元年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業		17	17	1	15	16	1	6.3	0.8	2	109	111
畜産業		88	88	1	84	85	3	3.5	4.0	1	266	267
金融・広告業		15	15		17	17	-2	-11.8	0.7		57	57
映画・演劇業		2	2				2		0.1		5	5
通信業		67	67		60	60	7	11.7	3.0		161	161
教育・研究業		15	15		23	23	-8	-34.8	0.7		52	52
保健衛生業		183	183		184	184	-1	-0.5	8.3	1	615	616
接客娯楽業		102	102	2	124	126	-24	-19.0	4.6	1	393	394
その他の事業	2	103	105	1	104	105			4.8	3	281	284
合計	2	592	594	5	611	616	-22	-3.6	26.9	8	1,939	1,947

「第三次産業」の内訳

業種別	令和2年			令和元年			対前年		業種割合 (%)	令和元年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	2	381	383	2	353	355	28	7.9	17.4	7	1,019	1,026
うち 小売業	1	320	321	1	291	292	29	9.9	14.6	6	841	847
金融・広告業		15	15		17	17	-2	-11.8	0.7		57	57
映画・演劇業		2	2				2		0.1		5	5
通信業		67	67		60	60	7	11.7	3.0		161	161
教育・研究業		15	15		23	23	-8	-34.8	0.7		52	52
保健・衛生業		183	183		184	184	-1	-0.5	8.3	1	615	616
うち 社会福祉施設		127	127		140	140	-13	-9.3	5.8	1	447	448
うち 医療保健業		52	52		37	37	15	40.5	2.4		149	149
接客・娯楽業		102	102	2	124	126	-24	-19.0	4.6	1	393	394
うち 飲食店		42	42		47	47	-5	-10.6	1.9		160	160
うち 旅館業		25	25	1	40	41	-16	-39.0	1.1		109	109
うち ゴルフ場		6	6	1	5	6			0.3	1	60	61
清掃・と畜業	1	152	153		146	146	7	4.8	6.9	3	363	366
その他の事業	2	103	105	1	104	105			4.8	3	281	284
うち 警備業	1	27	28		33	33	-5	-15.2	1.3	2	57	59
合計	5	1,020	1,025	5	1,011	1,016	9	0.9	46.5	15	2,946	2,961



## 令和2年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況

令和2年1月1日～令和2年5月31日

北海道労働局

事故の型番号	業種番号											起因物番号																										
	1 製 業	2 鉱 業	3 土 石 採 取 業	4 建 設 業	5 道 路 貨 物 運 送 業	6 そ の 他 の 運 輸 交 通 業	7 陸 上 貨 物 取 扱 業	8 港 湾 運 送 業	9 林 業	10 水 産 業	11 そ の 他 の 事 業	12 起 因 物 計	13 原 動 機	14 動 力 機	15 木 材 加 工 機	16 建 設 用 機	17 金 属 加 工 機	18 一 般 動 力 機	19 車 両 系 木 材 伐 出 機 械 等	20 動 力 ク レ ン 等	21 動 力 運 搬 機	22 乗 物 器	23 圧 力 容 器	24 化 学 容 器	25 溶 接 装 置	26 炉 ・ 窯 等	27 電 気 設 備	28 人 力 機 械 工 具 等	29 用 具	30 そ の 他 の 装 置 設 備	31 仮 設 物 ・ 建 築 物 ・ 構 築 物 等	32 危 険 物 ・ 有 害 物 等	33 材 料	34 荷 重 等	35 自 然 環 境 等	36 そ の 他 の 起 因 物	37 起 因 物 な し	38 分 類 不 能
1 墜落・転落	45		5	80	76	6	5	2	2	3	126				18		1	2	4	78	2						1	84	9	122		1	6	21		1		
2 転倒	114		2	52	77	47	5	1	2	7	520				1		1			11	10				2	1	19	31	6	218		5	14	489	2	17		
3 激突	11			7	16		1	3		1	42				7		3		1	10	3						10	4	6	19		2	6	8	1	1		
4 飛来・落下	16		1	27	11		1		7	3	23				3	3	5	1	6	6				1		2	9	8	5	3		17	10	9	1			
5 崩壊・倒壊	9			2	2					4	1	3							1	2							1	2	1	2		6	2	4				
6 激突され	12			6	7	1	1		7	4	75				4		4	1	2	12	6						10	7	1	3		4	3	43	7	6		
7 はさまれ・巻き込まれ	77		2	35	24	3	3	2	1	16	62			5	8	10	8	45	1	9	42	10			1		8	19	13	11		8	12	15				
8 切れ・こすれ	51			14	2	1	1		5		54			26		7	23										42	15		2		9	2	1				
9 踏抜き				2							2																			1		3						
10 おぼれ																																						
11 高温・低温の物との接触	8						1				7																1	9		1	1			4				
12 有害物等との接触	2			1							2																			5								
13 感電	1										1				1																							
14 爆発	1										1														1													
15 破裂				1							1																		1									
16 火災											1																									1		
17 交通事故(道路)	2			5	10	27			1	6	53				2						11	84					2								5			
18 交通事故(その他)																																						
19 動作の反動・無理な動作	17			12	33	8	2			5	141			1			2				13	4					6	7	1	34		1	24	40	4	80	1	
90 その他	1					1					19																	1						3	12	5		
99 分類不能																																						
合計	367		10	244	258	94	20	8	29	46	1130			5	35	46	18	84	5	23	186	119			1	4	3	108	179	52	415	6	57	79	642	28	110	1

## 令和2年 署別・業種別死亡災害発生状況

令和2年1月1日～令和2年5月31日

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号	4号		5号		6-2号	7-2号	その他 の事業	合計
	製造業	うち木材木 製品製造業	鉱山保安法 適用事業	土石採取業	建設業	道路貨物 運送業	その他の 運輸業	陸上貨物 取扱業	港湾運送業	林業	水産業		
署別													
札幌中央													
札幌東					1		1					2	4
函館													
小樽													
岩見沢													
旭川					1								1
帯広										1			1
滝川												1	1
北見	1	1										1	2
室蘭					1								1
釧路													
名寄										1			1
留萌													
稚内												1	1
浦河													
苫小牧													
倶知安					1								1
計	1	1			4		1			2		5	13

## 死亡労働災害の概要(令和2年5月把握分)

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
2	5	14時台	土木工事業	10人以上29人	巻き込まれ・はさまれ	建設用等機械 146	被災者は、ずい道建設工事の切羽後方において、高所作業車により、ずい道の延伸に伴う工事用照明の追加作業を単独で行っていたところ、高所作業車のバケットとトンネルの天端の間にはさまれた状態で発見されたもの。
2	5	14時台	林業	10人未満	激突され	環境等 712	被災者は、農地の防風林伐開作業において、樹高約24.4mのヤチダモを伐倒していたところ、幹が裂けて跳ね上がり、頭部に激突したもの。

## 令和2年 有害物質による急性中毒等発生状況

北海道労働局 5 月末現在

	発生年	発生月	時刻	業種	規模	災害の状況	
1	2	2	11時台	畜産業	10人未満	被災者が、乳牛の搾乳小屋の床をエンジン式の高圧洗浄機で洗浄していたところ、一酸化炭素中毒により意識を失い倒れたもの。搾乳小屋は換気されていなかった。  [一酸化炭素中毒:被災者1人(休業4日未満)]	
合計	発生件数		1	内訳	一酸化炭素中毒 1 件 酸素欠乏症 0 件 硫化水素中毒 0 件		
	被災者数		1	内訳	死亡 0 人 休業4日以上 0 人 休業4日未満 1 人 不 休 0 人		